

26	日本の自然	学習日	月	日	名前：
----	-------	-----	---	---	-----

教科書 p 176～179

1. 変化に富んだ地形

変動帯に位置する日本列島

日本列島の周辺はたくさんのプレートがある

→ プレートの境目は狭まる境界、(1) がある

ここにマグマが発生し、上昇した(2) により火山が作られる

(= 3)

海溝の歪みによって(4) が発生する

日本列島の地形

日本の陸地の4分の3は山地・丘陵 = 平地は4分の3しかない

日本列島には大きく2つの断層(構造線)がある

① 西日本の内帯、②西日本の外帯、③東日本 の3つに分かれる

① 西日本の内帯 は低くてなだらかな山地が広がる

② 西日本の外帯 は高く険しい山地が広がる

③ 東日本 は火山活動がさかんで平野や盆地が連なっている

東日本と西日本の境目が(5) (大地溝帯) = 糸魚川～静岡の構造線

河川と海岸

河川は長さが短くて流れが急 ... 「これは川ではない、滝だ」By デレーケ

海岸は岩石海岸・砂浜海岸・リアス海岸など多様な海岸

北海道地方	大雪山	2291m	北海道
東北地方	燧ヶ岳	2356m	福島県
関東地方	白根山	2578m	栃木県
中部地方	富士山	3776m	
近畿地方	八経ヶ岳	1915m	奈良県
中国地方	大山	1729m	鳥取県
四国地方	石鎚山	1982m	愛媛県
九州地方	宮之浦岳	1936m	鹿児島県

2. 変化に富んだ気候

日本列島は南北に長い → 変化に富んだ気候が見られる

北海道は(6) 、本州の多くは(7)

日本列島は大陸の東岸にある

→ 偏西風と(8) の影響で気温の差が大きい

*大陸の西岸は比較的穏やかな気候になりやすい

日本列島の周りには(9) がたくさんある

→ 気温の変化・降水の変化をもたらす

冬

ユーラシア大陸上の(10) が強い

北西からの季節風が日本海で(11) から水蒸気を受け取り、

日本海側で豪雪

春

3月頃にシベリア気団が弱くなり始める

本州付近は高気圧と低気圧が交互に通過する、(12)

長江気団(揚子江気団)が高気圧をもたらす、太平洋側でも降雪

夏

オホーツク海気団が強くなり、日本列島上を(13) が覆う

東北地方には(14) という北東風が吹く

7月には小笠原気団が日本列島を覆い、盛夏となる

夕立による雨、台風による暴風や大雨が日本を襲う

秋

大陸のシベリア気団が強くなり始める

(15) が日本列島を覆い、雨が多くなる

これに台風が加わり、東日本にも大雨をもたらす

11月になると、シベリア気団が完全に優勢となり、寒い季節となる